

平成 30 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

多機能型事業所：(生活介護事業・就労継続支援 B 型事業)

シャイン

I 運営

働くことを基本に利用者と職員が一丸となって、給食作業を中心に活動した。また、休日の余暇支援を増やし「働くこと・楽しむこと」を実現出来る様に支援した。従たる事業所「つむぎ」の活動を強化し多様化した作業や活動を提供した。奥戸福祉館と送迎や宿泊旅行を合同で行い連携した。

【利用者組織体制】

就労継続B型事業所 定員 10名 利用者現員 11名 (男性： 7名・女性4名)
生活介護事業所 定員 30名 利用者現員 26名 (男性： 18名・女性8名)
(本体：定員 24名 利用者現員 20名) (つむぎ：定員 6名 利用者現員 6名)

【会議・研修】

職員会議 (1回：全職員)・ケース会議 (随時)・給食会議 (月1回)
軽作業会議 (月1回)・つむぎ会議 (月1回)・リーダー会議 (随時)
奥戸福祉館・シャイン合同管理者会議 (隔月)・内部・外部研修 (随時)

【就労支援事業会計】

売上 (41,279,784) 円
☆給食 (320,060,968) 円・お惣菜 (412,315) 円・お弁当 (462,600) 円
GH配食 (3,896,300) 円・GH定期配食 (2,540,500) 円・自主生産：食品 (746,150) 円
自主生産：雑貨 (380,900) 円・自販売機手数料 (87,388) 円・定期便 (120,000) 円
段ボール (12,005) 円・封入作業 (8,580) 円・受託作業 (288,169) 円
公園清掃 (220,974) 円・駐車場清掃 (34,100) 円・スーパーマルエイ (8,835) 円
☆利用者工賃平均工賃
平成30年度 (194,361) 円／年 (16,197) 円／月

II 生活介護事業所

☆利用者工賃平均工賃
平成30年度 (189,527) 円／年 (15,794) 円／月

【作業活動】

所内清掃と所内消毒、給食作業に使用する白衣等の洗濯等を行い、食品に携わる施設として衛生を保てるよう努めた。また、販売会や地域行事に積極的に参加し、接客を学びながら地域の方との交流を図った。その他、給食・洗浄作業や地域清掃、社内便封筒の作成・紙すきなど、個々の能力に合わせた作業を提供している。自主生産品では、プラバン・レジンアクセサリーの製作を行っている。健康面に配慮し、ラジオ体操の実施と骨盤底筋を鍛える体操を実施した。

【従たる事業所 つむぎ】

今年度、奥戸福祉館の利用者2名の実習を受け入れ、奥戸福祉館の職員も1名活動に参加してくれた。シャインと奥戸福祉館の連携強化も含み、つむぎの所在地も奥戸2丁目に引っ越しをしている。作業も増え受注金額も昨年度より大きく上回る事ができた。強度行動障害を持っている人でも作業が出来ると確信できた年にもなり、利用者職員共に自信に繋がった年でもあった。

【作業】

- ① 園芸作業→今年度計画していた外部販売(スーパーマルエイ西葛西店)を開始した。特に地域がら西葛西は外国の方が多く、パクチーが1番の売り上げとなった。
- ② ゆず屋作業→昨年と変わらずに1日約コンテナ4箱分のペースで服をゆずやに納品することができている。
- ③ 内職作業→(ハトメ作業)昨年5月より開始。1週間で2,400個の数を作り納品。今年の3月よりハトメ納品の数が3,000個増えている。
(パッキン作業)今年の11月より開始。最初は限られた利用者しかできない仕事だったが、少しずつ他利用者もできる人が増えてきている。
- ④ 弁当配達・回収作業→今年度より新たにGH夕食・朝食配達の作業が増えている。その都度ルートを見直している。
- ⑤ 清掃作業→(公園清掃(区委託事業))昨年10月より開始。場所は奥戸4丁目落公園。週に2~3回の清掃。特に大きな問題なく作業できている。
(駐車場清掃(外部受注))コインパーキングの清掃。昨年4月より開始。週5回。特に大きな問題はなく作業できている。
- ⑥ メッセンジャー(代行業務)→メッセンジャー職員の見守りの他にGPSを導入。見守りが無い日も何処の場所で何分滞在しているか確認をする事ができている。

Ⅲ 就労継続支援B型事業

☆利用者工賃平均工賃

平成30年度(206,100)円/年 (17,175)円/月

働く事を基本とし、作業を通して一般就労を意識出来るよう支援を行った。家庭及びグループホーム向けに、食中毒対策や対応について情報の提供を行った。2月に外部講師を招き、職員と調理職員に向けての衛生講習会を開催し、食中毒や感染症(ノロウイルスとインフルエンザ)に対する意識の強化に努めた。

作業面では、10月よりアンジュの給食をキッチンキスで配食することとなり、代わりにキッチンキスで配食していたグループホーム寮生の夕食・朝食をシャインが配食することになった。昼食及び夕食の配達に於いては、つむぎにも協力を依頼し配達を行った。また、外部からの弁当注文やオードブル注文等の定着もみられた。近隣に向け惣菜販売(直売会・ふれあいマルシェや総菜配達)を行った。

来年度は、利用者個々の特性を伸ばすことに重点をおき、加えて外部注文を引き続き受け、さらなる作業の充実と工賃アップ、作業意識の向上に取り組むたい。

アクセサリーでは、クルミルからの注文も増え売上を伸ばすことができた。今後も継続的に生産を行くオリティを上げるとともに、製造マニュアルを作成し、安定した製品の生産に勤める。

【就労】

一般企業への就労を希望する利用者に向け、社会スキル習得のための取り組みや、求職のためハローワークや面接会、希望施設への見学等の同行を行い、必要に応じて関係機関

との連携を図った。また以前、一般企業へ就労した利用者へのアフターケアとして、職場訪問を行った。

☆実習

- ・Cさん 老人保健施設への見学及び面接、一般企業、老人ホーム面接

☆アフターケア

- ・Yさん 職場訪問実施
- ・Mさん アフターケア健康管理、仕事内容フォロー

【食品作業】

①調理

技術向上を目指し、各利用者に合った作業を行っている。HACCPに基づき食品の取り扱いや大型機器の取り扱いなど、衛生的且つ安全に行えるよう努めた。毎日作業終了時にヒヤリハットとして報告を出し合い、記録を残し事故対策や防止に努めた。

②配膳

- ・各担当を決め一人一人が責任を持って作業ができるよう取り組んだ。
- ・喫食者個々のニーズに合わせ食事形態を考慮し、(代替え食や刻み食、嚥下食、治療食)などの対応を行った。
- ・ステンレス等の調理器具に付着するウォータースポットを軽減するため、洗浄後のステンレス調理器具専用の籠を新たに購入し、熱風殺菌庫にて乾燥を行い改善に努めた。
- ・寮の夕食・朝食に於いては、個別の対応をしていることもあり、確認作業の強化をしっかりと行いミスのない様に努めた。

③洗浄

- ・一部役割を明確化し、各々役割に対する責任や作業効率を上げられるよう支援を行った。

④衛生

- ・調理従事者の細菌検査を月1回行った。
- ・調理従事者は、入室時、健康チェック及び身だしなみチェックを毎朝行った。
- ・調理、配膳室には、2回の手洗いとトリミングを行ってから入室し、手洗いには専用の液体石鹸、爪ブラシ、ペーパータオル、アルコールを用意して使用し、定期的に補充を行った。また、センサー式石鹸とアルコールを設置し、直接手が触れないものにした。
- ・インフルエンザ、ノロウイルス対策として、調理従事者への健康チェックの強化、館内の塩素による消毒を毎日行い、吐しゃ物処理セットを各階に用意し、迅速な対応が出来るようにした。
- ・穀類、調味料、乾物類は、衛生上十分配慮した専用の場所に保管した。
- ・厨房等の害虫駆除を外部業者に委託して実施した。飛来昆虫捕虫テープの交換を行った。
- ・グリストラップ清掃を行った。さらに、外部業者にも依頼して清掃を実施した。
- ・保健所の立ち入り検査があった。特に問題は無かった。

⑤栄養指導

食事療法が必要な利用者には、その都度アドバイスを行なった。また季節により食中毒や手洗いの講習会を開き、利用者に向けて衛生に対する意識付を行なった。

⑥異物混入及び事故対策

毎日作業終了時にヒヤリハットとして報告を出し合い、記録を残し事故対策や防止に務めた。

⑦給食会議

現場の状況報告・職員の体制・利用者の体制・業務の課題や方向性について話し合いを行った。

【給食作業】

①食事形態及び代替食・治療食（透析等）の提供

個々のニーズに合わせて代替食、刻み食、ミキサー食、嚥下食、減塩食や糖尿食の提供を行なった。

②検食及び保存食

検食者は味付け、色彩、形態、意見などを検食簿に記入した。

検品時に原材料をそれぞれ 50g 採取し、保存食を盛り付け時に献立ごとに 50g 採取し、 -20°C で 2 週間保存した。

②配達

- ・昼食・夕食共にゆとりを持った時間配分で安全運転での配達を実施している。
- ・配達時に気持ちの良い挨拶ができるように支援を行い配達を行った。
- ・アンジュの昼食が無くなった事で、配達ルートの調整を行った。
- ・寮生の個別配達が始まったことに伴い、従来からのグループホームへの配達も含め、配達ルートの調整と検討を行った。
- ・従たる事業所「つむぎ」が配達作業に関わり「つむぎ」利用者の活動の幅を拡げた。

【食品販売】

①惣菜販売

- ・真空冷凍によるコストを抑えた食品を近隣・法人内に向け販売を行ってきた。
- ・直売会『シャインふれあいマルシェ』により近隣への存在周知も広がり、所内へ惣菜購入に来られる方も増えてきた。
- ・掲示、営業により外部や法人内へオードブルの販売を行っている。

③弁当販売

- ・GH、東京ボランティアセンター、日本 NPO 法人、就労支援センター、ロードレース大会、通勤寮、その他に弁当配達を行った。
- ・ポスターやチラシ、Facebook などを用いて宣伝を行い、販路の拡大に努めたことで、地域や、外部の受注も少しずつ増えてきた。

④その他菓子

- ・利用者が主体となり、計量や製造作業を行ない、働く意欲へと繋げた。

コラボ商品

- ・葛飾区のご当地ヒーローゼロングとのコラボ商品の開発にあたった。

【雑貨】

①折り紙レジンアクセサリー、プラバンキーホルダー、紙すき、アクリルたわし等の作成をおこなった。

②KURUMIRU

今年度もレジンアクセサリーを KURUMIRU から受注し、各店舗（東京都庁 B1F・丸井錦糸町店 2F・伊勢丹立川店 4F）にて販売している。

【販売会・受注販売】

区役所販売会、各イベントなどで自主生産品の販売を行った。利用者は各販売会、イベントで販売員として参加した。

(区役所販売会・直売会・ふれあいマルシェ・中川に親しむ会・スポーツフェスティバル・東京拘置所・緑化フェア・カナダロイヤル銀行・パルフェスタ・ごみ減量フェア・高砂音楽祭・ゼロング四ツ木エンタメフェスタ・やまもも祭)

【食品売上】

食品売上 (40,118,833) 円

材料費 (16,236,011) 円

【食品売上分析】 単位：千円

☆食品売上計：(40,119) 円 ※(表示桁以降四捨五入)

給食売上 (32,061) 円・惣菜売上 (412) 円・弁当売上 (463) 円

GH配食 (3,896) 円・GH定期 (2,541) 円・自主生産品 (746) 円

☆材料計：(16,236) 円 原価率 (40.5%) (vq%)

(30年度実績) 食品売上 (pq) =40,119 円

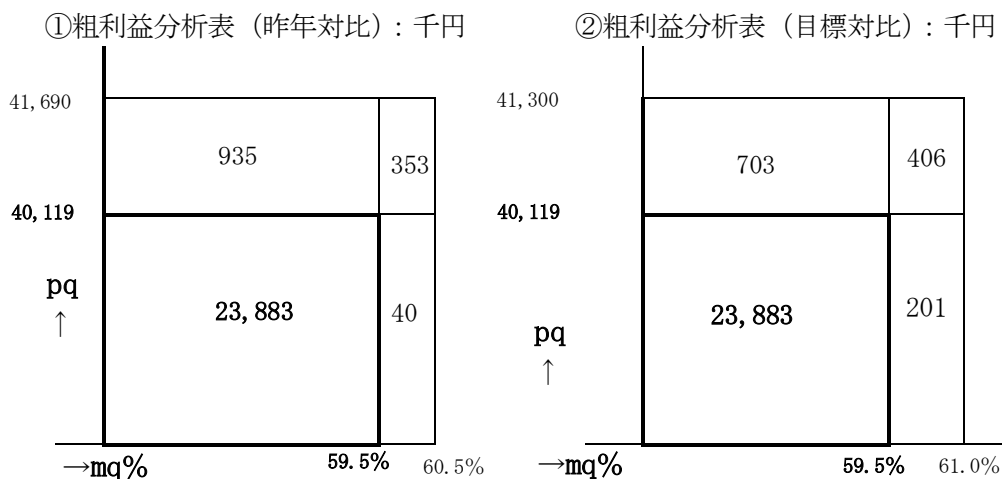
粗利益 (mq) =23,883 円 (粗利益率 59.5%) (mq%)

(29年度実績) 食品売上 (pq) =41,690 円

粗利益 (mq) =25,211 円 (粗利益率 60.5%) (mq%)

(売上目標) 食品売上 (pq) =41,300 円

粗利益 (mq) =25,193 円 (粗利益率 61.0%) (mq%)



・売上減の原因としては、アンジュの給食を10月よりキッチンへ移行したことが考えられる。グループホームの配食は増えてはいるが、補う数値には届いていない。また、グループホーム配食分の朝食は保健所の衛生指導を考慮し外部の冷凍食品を利用している為、配食全体の利益率も下がってしまった。

IV 利用者ケース

【Kさん（男性）】

7月に突然欠勤し、連絡が取れなくなることがあった。その後、連絡が取れたが、その時点で自立をしたいとの話があった。自力で生活保護を申請受給し、独居を始めていた。自分で就職先も見つけており、原町成年寮GHとシャインを退所している。平成31年3月現在、足立区で独居し一般就労をしている。折々に本人より電話で近況報告を受けている。

【Nさん（男性）】

以前より希望していた、実家近くの西国分寺にあるGHへ入寮している。入所に伴い8月にシャインを退所。

【Fさん（女性）】

8月にGHから無断で祖父母宅へ行くことがあった。その後、10月下旬まで祖父母宅及び自宅で過ごし、シャインも休んでいる。家族と会議を重ね、本人の希望もあり10月末よりGHへ戻り通所を再開している。しかし、その後も生活リズムの乱れや体力の低下などにより1カ月以上休む、通所も持続的に行えない状況が続いている。家族と区のワーカーとGHとで話し合いを行い、入所施設の短期利用などで環境を変え、生活リズムの改善を図る方針を進めている。

【Mさん（男性）】

昨年度3月より、当法人の社内便配達回収業務へ一般就労している。シャインを拠点とし、安全かつ正確に業務を遂行できているか、必要に応じて見守りを行い対策を講じるなどのアフターケアを行った。

【Yさん（男性）】

クラフトへの異動希望があり、3月に実習を行っている。実習後、希望が変わらないことを確認し、家庭とも連携し来年度5月を目途に異動する方針となっている。

【Cさん（女性）】

一般就労へ向けて、自ら意欲をもてるよう支援を行った。8月には高齢者施設の調理補助の募集があり見学を行った。また本人の希望から、スキルアップも含めパソコン教室への参加をしている。現状は、一般就労への意欲は低い状態が続いている。

【Yさん（女性）】

家庭からの希望があり、移動支援の送迎利用契約をし、3月より行きのみ送迎を行っている。当初は月曜のみだったが、希望があり毎日の送迎に変更している。送迎への変更に伴い、通所日数が増加傾向にある。

【Nさん（男性）】

従たる事業所つむぎから単独で出奔。20分後に本人を確保している。

V 行事

仕事だけでなく、楽しみを感じ充実した日々を送れるよう、様々な行事を実施した。年間を通じて、1人1人の希望をかなえられるようニーズに応じた外出を計画し、個別グループ外出を実施した。全体では、夏にバーベキュー外出を行った。

また、休日の余暇として1月に1、2回土曜日に休日余暇活動を実施した。

昨年に引き続き、9月に近隣住民への周知と交流を目的とした「ふれあいマルシェ」を開催した。利用者もスタッフとして参加し、近隣の方々と関わりを持つことができた。

新しい試みとして、利用者主体の「お楽しみ会」を企画した。立候補による実行委員会を作り、自身で企画、準備、実施することで達成感を得られるよう支援した。

奥戸福祉館との交流事業として、合同の宿泊旅行を実施した。シャインからは利用者10名と職員3名が参加した。

VI 保健

【定期健康診断】

利用者・職員共に実施した。

【健康管理】

- ・昼食前後の服薬の確認を、チェックシート・服薬ボックスを用いて行った。臨時薬（服薬・点眼・塗布薬）については、適宜確認を行っている。
- ・毎月月末に、血圧・体重測定実施。大きな変化が見られた際は、保護者・GHと情報を共有している。
- ・血圧が高い傾向にある又は高血圧の方は、通所時に血圧測定を実施。状態によっては、休憩や座り作業を提供している。
- ・常に家庭とグループホームと連絡を密に取り、健康管理に努めた。

【その他】

- ・毎月細菌検査を行い、提出者の結果は全て陰性。
- ・感染性胃腸炎の疑いがある利用者は、通院を依頼している。症状が続く場合は休暇をとってもらい経過観察、通所再開後は症状が治まってから2週間は食品に関する作業に携わらないように作業を変更し対応している。
- ・インフルエンザの流行時期は、対策として全員マスク着用、手洗いうがいを促している。

VII 防災

【防災】

【自衛消防訓練（火災、地震、水害、不審者対応）】

火災・地震を想定し指定の第一時避難場所へ避難する訓練を行った。水害の避難先はシャイン建物4Fへ階段を使用し避難訓練を行った。また不審者の侵入を想定し、不審者に対応した訓練を行った。事前に本田消防署奥戸出張所に「自衛消防訓練通知書」をFAXし記録として保存した。

【実施日】

毎月最終週に実施

VIII 地域交流

地域の方々に開かれた施設としてシャインと利用者を理解して頂けるように、奥戸二丁目町会の活動に積極的に参加した。

- ・地域清掃…利用者の日常的な作業として行った。
- ・町会…地域や町会のお祭りに職員・利用者で参加し（御神輿の担ぎ手・大しめ縄作り・お餅つき）、交流を深めることができた。

IX ボランティア

行事等でボランティアの受け入れを行った。